

「急性肝不全の全国調査（令和2年～4年度）」へのご協力をお願い

急性肝不全は予後不良の難病であり、わが国における疾患の実態を明らかにして、病気の予後を予測するシステムを構築することは、疾患の治療法や予防法の確立のために大変重要であり、社会的意義も大きいものがあります。

本研究では、急性肝不全と診断され治療した患者さんのデータを、診療記録を参考にして研究させていただく全国規模の調査です。埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科が主幹施設となっており、全国の主要施設に対しアンケートによる調査が行われています。全国での臨床データを集積し、成因の解明と治療効果の解析は今後の予防法や治療法の確立に貢献、寄与することが期待できます。

京都医療センター消化器内科においても、その趣旨に賛同し、本調査に協力していきたいと考えています。

対象者：2019年1月～2022年12月において、急性肝不全によって治療を受けた方

調査内容：対象患者さんのカルテ等から、性別、年齢、生年月などの背景情報や各種治療経過中の臨床所見、血液検査およびCT検査等のデータを調査

当科から提供するデータには氏名や住所、カルテ番号など個人を特定できる情報は含んでおりません。また、個人情報の保護・管理は厳重に行われ、研究の結果が学会や学術誌に発表される場合でも個人の特定が可能な情報が載せられることはありません。

本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。

この調査協力に対して、「調査に利用されたくない」とお考えの方は、お手数ですが平日の9時から17時の間に下記までご連絡下さい。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにどうぞご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

国立病院機構京都医療センター消化器内科

医長 岩本 諭

電話：075-641-9161（代表）